【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公開番号】特開2005-179178(P2005-179178A)
【公開日】平成17年7月7日(2005.7.7)
【年通号数】公開・登録公報2005-026
【出願番号】特願2004-341851(P2004-341851)
【国際特許分類】
Ｃ０３Ｃ　8/24　(2006.01)
Ｃ０３Ｃ　8/04　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/004　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　9/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　11/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０３Ｃ　8/24
Ｃ０３Ｃ　8/04
Ｇ０３Ｆ　7/004　５０１
Ｇ０３Ｆ　7/004　５１２
Ｈ０１Ｊ　9/02　Ｆ
Ｈ０１Ｊ　11/02　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月21日(2007.11.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも無機粉末と有機成分を含む無機粉末含有ペーストであって、有機成分が少なくとも（Ａ）数平均分子量が３００以上であるアルキレンオキサイド誘導体および（Ｂ）アクリル樹脂を含み、さらに必要に応じ（Ｃ）水溶性セルロース樹脂を含み、数平均分子量が３００以上であるアルキレンオキサイド誘導体、アクリル樹脂および水溶性セルロース樹脂の総和１００重量％に対し、それぞれが以下の範囲内にあることを特徴とする無機粉末含有ペースト。
数平均分子量が３００以上であるアルキレンオキサイド誘導体　３０～７０重量％
アクリル樹脂　２０～７０重量％
水溶性セルロース樹脂　０～３０重量％
【請求項２】
アルキレンオキサイド誘導体が下記一般式（Ｉ）で表されることを特徴とする請求項１に記載の無機粉末含有ペースト。
$R^2O-(R^1O)_n-R^3$　（Ｉ）
（式中、R^1は、炭素数２以上のアルキレン基であり、R^2、R^3は、水素原子、アルキル基、グリセリル基、アリル基、アルキレングリコール基、ポリアルキレングリコール基から選ばれたものであり、同じであっても異なってもよい。ｎは、２以上である）
【請求項３】
有機成分が（Ｄ）不飽和二重結合を有する化合物を含むことを特徴とする請求項１または２のいずれかに記載の無機粉末含有ペースト。

【請求項４】
無機粉末がガラス粉末であることを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の無機粉末含有ペースト。
【請求項５】
請求項１～４に記載の無機粉末含有ペーストが支持フィルム上に塗布された感光性フィルム。
【請求項６】
無機粉末含有ペーストを基板上に塗布して乾燥する工程を含むディスプレイパネル用部材の製造方法であって、無機粉末含有ペーストに請求項１～４のいずれかに記載の無機粉末含有ペーストを用いることを特徴とするディスプレイパネル用部材の製造方法。
【請求項７】
フィルムを基板上に転写する工程を含むディスプレイパネル用部材の製造方法であって、請求項５に記載の感光性フィルムを用いることを特徴とするディスプレイパネル用部材の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
すなわち本発明は少なくとも無機粉末と有機成分を含む無機粉末含有ペーストであって、有機成分が少なくとも（Ａ）数平均分子量が３００以上であるアルキレンオキサイド誘導体および（Ｂ）アクリル樹脂を含み、さらに必要に応じ（Ｃ）水溶性セルロース樹脂を含み、数平均分子量が３００以上であるアルキレンオキサイド誘導体、アクリル樹脂および水溶性セルロース樹脂の総和１００重量％に対し、それぞれが以下の範囲内にあることを特徴とする無機粉末含有ペーストである。
数平均分子量が３００以上であるアルキレンオキサイド誘導体　３０～７０重量％
アクリル樹脂　２０～７０重量％
水溶性セルロース樹脂　０～３０重量％